

### 事務局長方針

東海地区協議会は、日本J Cの運動を地域、時代に即した形で各ブロック協議会、各地会員会議所へ展開する重要な連絡調整機関として、長きに渡り活動を続けてきました。今後も組織の屋台骨である事務局が円滑な組織運営を追求し、活動する必要があると考えます。また、東海地区協議会として、海外デリゲイツが集まる国際交流の地で我々の住まう東海を発信する機会を事務局が率先して構築する必要があります。

事務局は利他の精神をもち、仲間のために活動しなければなりません。だからこそ何が組織の円滑な運営につながるのかを意識し、効率的かつ効果的な運営を実施して参ります。その考えのもと、まずは各種連絡事項において、的確な内容を迅速に発信するよう努めて参ります。また、委員会と綿密なコミュニケーションを取り、上程計画について情報共有を行います。その上で委員会が十分な準備期間を設け、議論が進められるよう案内をはじめとする後方支援を適時実施して参ります。そして、本年度、組織改革を推進する東海地区協議会にとって、各ブロック協議会、各地会員会議所との連携は必要不可欠となってきます。その連携を一層強固なものとするため、まずは我々がどのような活動をしているのかをSNSや電子媒体を通じて各地会員会議所メンバーと共有します。また、一般市民に向けた広報活動においては、委員会と協働し、SNSにて情報発信を行うことで運動効果を高めます。そして、ジャパンナイトにてブース出展を行うことで、東海地区が有する地域価値を海外デリゲイツに発信し、東海地区への関心を高めるとともに、日本が誇る歴史文化の層の厚さを発信する一翼を担います。

私たちは東海地区協議会と各ブロック協議会、各地会員会議所がより身近な存在となるように努めることで、互いがこれまで以上に連携し、各々が最大限の運動効果を発揮できる地区を目指し、活動して参ります。

#### ・ジャパンナイトにおけるブース出店の企画・実施

<SDGsゴール：8 ターゲット8. 9>

ジャパンナイトを通し、東海地区の文化を発信することで、地域のブランド力を高め、観光業を促進する。